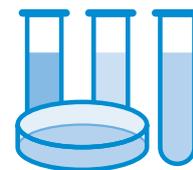


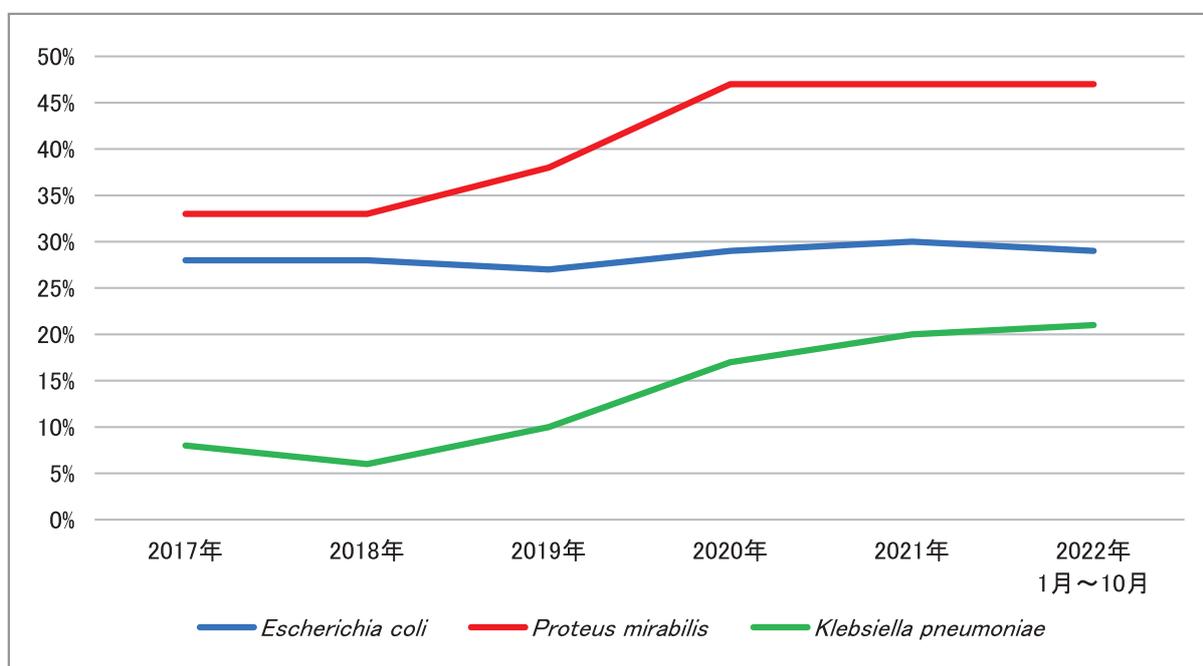
細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)



当検査センターで受託した細菌検査における統計資料を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、泌尿器系材料から検出された菌の ESBL 産生菌検出率を掲載いたします。

【泌尿器系材料】ESBL 産生菌検出率 (2017～2022年10月)



ESBLとは基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ(extended-spectrum β -lactamase)の略で、ペニシリンなどの β ラクタム環を持つ抗生物質に耐性を示す薬剤耐性菌です。

当検査センターで、泌尿器系材料から検出された菌の ESBL 産生菌検出率を2017年～2022年10月と比較したところ、*Escherichia coli* はほぼ横ばいですが、*Proteus mirabilis* と *Klebsiella pneumoniae* は10%以上の増加がみられました。特に *Proteus mirabilis* は約半数が ESBL となっており、高い検出率を示しています。薬剤感受性基準セットをご依頼いただくと、その都度、耐性菌の報告が可能です。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧ください。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係